

静岡精華学園報

令和5
2023
秋季

静岡福祉大学／静岡大成高等学校／静岡大成中学校／静岡精華幼稚園
発行者:学校法人静岡精華学園 〒425-0063 静岡県焼津市本中根549-1 TEL.054-656-2100(代) www.s-seika.jp

SHIZUOKA
SEIKA
GAKUENHO
VOL.6

挑

静岡大成中学校・高等学校

生徒たちを教師全員で見ている

戦

しています。

チーム担任制

「担任は一国一城の主」と言われてきました。それぐらいの気概を持ってクラスの生徒に責任を持って!ということなのでしょう。そのような教育文化を背景に、生徒のためなら自分の生活も躊躇なく投げ出す生徒思いの教師たちが数多く育ちました。しかし、この「心得」によって担任教師の横暴に苦しめられる生徒たちがいたことも事実です。なにせ担任教師は生徒たちの「主」なのですから。また、教師たちにも「得手不得手」があります。たった一人の教師が30～40人の生徒の担当になる従来の担任制は必ずしも良いことばかりではありません。そこで、静岡大成高校では今年度の高校1年生から「チーム担任制」を導入し、教師たちがチームを組んで一緒に複数のHRを担当することにしました。(編集部)

中山龍一先生(高1学年主任・進学コース担任)のお話

チーム担任制の導入にあたって不安だったことは、保護者の皆さんにこの制度を受け入れてもらえるかということでした。しかし、入学式の日に校長や私からの説明を聞いた保護者の皆さんのほとんどがチーム担任制を前向きに捉えてくださり、不安は杞憂に終わりました。

まず生徒たちに変化が現れました。従来、生徒たちはどうしても先生方の指示を待ってしまう傾向にありましたが、能動的に動く生徒が増えたように



感じます。それは、いままでのようにひとりの担任の先生が何から何まで面倒を見ているわけではないので、生徒が主体的に動けるよう「自分からする」ことを意識するように指導してきたからだと考えています。

また、先生方にも変化が出ています。今までは、クラス担任が自分ひとりだという責任感から先回りして生徒に指示を出してしまいがちでしたが、チーム担任制ではその責任の重さが分散し先生方に精神的な余裕が生まれることで、少しずつ生徒の行動を待つことができるようになったと思います。

生徒は過大に教師に頼ることをやめて主体的に行動できるようになり、先生方の心には以前よりも余裕が生まれま

した。このように良い方向に向かっていると感じています。

in-dex vol.6

挑戦

生徒たちを教師全員で見ている ①

韓国訪問

韓国・東国大学校訪問を終えて ④

「子供たちの笑顔」を取り戻す!

—活気のあるPTAバザーを— ⑥

福祉のこころをわかりやすく伝える

「バリアフリー絵本展」

⑦

駅キャン 静岡精華学園「駅キャン文化講座」レポート

7回の「駅キャン文化講座」を振り返る ⑧

ヒアリング……………後藤康雄氏

空襲と飢餓に耐えた戦時の女学生たち

⑩

学校法人静岡精華学園へのご寄付のお願い ⑪

チーム担任制の鍵は「対話」

チーム担任制では教師と生徒の関係が希薄にならないでしょうか。また、チーム内でどう情報を共有するのか、そもそも共有できるのかという懸念を唱える人もいます。それらについて教務部長の横山力先生に聞きました。(編集部)

横山力先生(教務部長)のお話

今まで学校は生徒に「教師の価値観」を押し付けていました。また教師間でも上下関係では価値観の押し付けが行われていました。20～30年後、閉塞状況にある今の日本を変えるのは子どもたちです。私たちの価値観を子どもに植え付けるのでは日本は変わらない。そこで鍵となるのが「対話」です。

本校ではNewsPicksの協力を得て「対話」について研修を積み重ねています。この研修には注目されている

「NVC」^{※1}も含まれます。「対話」を重んずる実践によって柔らかで優しい関係が先生や生徒の間に生まれるのではないのでしょうか。職員室の中でも、うまくいかなかったと悩む先生に対して「こうすれば良かったんじゃないかなあ」といった優しい会話が生まれつつあるし、生徒と先生の廊下でのやりとりも穏やかでとても良いものが多くなりました。このような関係性が生徒や教師の間に育まれることにより、チーム担任制は学校にプラスの効果をもたらすと思います。

「なんでこんなことやってんだよ」という人もいます。でも、その人を置き去りにしない。前に進む時、気をつけないとそれも価値観の押し付けになる。なぜ先生になったのか分からなくなってしまわないように、先生方にはありがたい姿で働いてほしいと思っています。教師も生徒も自分の頭で考える、そんな学校を目指しています。



(編集部) 次に、横山先生のお話に出てくる「NewsPicks」を紹介します。

ニュースを使ってこの世界を考える

NewsPicks

国内の政治や社会的課題、あるいは国際情勢に関心を持たない若者が



※1 Nonviolent Communication(略称NVC)は、価値観の押し付けをやめ相手との共感を大切にお互いのニーズが満たされるまで話し合いを続けていくというコミュニケーションの方法である。(ウィキペディアより抜粋)

増えています。本校は学校を挙げてそこに切り込み、世の中に関心を持ち自らの力でより良い社会を築こうとする若者を育てようとしています。そのツールとして採用したのがソーシャル経済メディアの「NewsPicks」の教育版「NewsPicks Education」で、これを利用することで200種類以上のメディアの情報に生徒たちは触れることができるようになりました。しかも専門家のコメントまで読むことができるので事実と意見の両方に触れることができます。また、生徒たちも教師たちもみんなに紹介したい記事があるとそれをピックアップして大成のコミュニティで共有しコメントまでつけることができますので、積極的にコメントする生徒たちが増えました。お薦めの本を紹介し合うことができるサイト内の「Library」も生徒たちの視野を広げることに役立っています。

NewsPicksを利用した 「総合的な探究の時間」

高校1年生の「総合的な探究の時間」はNewsPicksの蒲原さんが担当します。高校1年全員が体育館に集まり蒲原さんの授業を受けます。扱うニュース記事は高校生には難解です。しかし、それらを普通に自分の生活の一部とする大人になってほしいという蒲原さんの



願いが伝わってくる授業が展開されています。従来の価値観でこの授業を見ると「自由すぎる」となるでしょう。生徒は思い思いの場所で好きな姿勢でiPadを見ながら、常に仲間と対話しながら授業を受けています。一般的な、静かに姿勢を正して話を聴くというスタイルではありません。「学びは他人から押し付けられるものではない」「生徒一人一人が学びの主体となり、みんなでその学び場を創ろう」そんな強い思いが伝わってきます。理事長も校長も時折参加しており、静岡大成高校の「ここか

ら始めるのだ」という強い意志が感じられます。

新しい教育づくり、学校づくりに挑戦する静岡大成中学校・高等学校に期待しましょう。
文責 渡会 進

挑戦
challenge

訪韓 問

静岡福祉大学 韓国訪問 韓国・東国大学校訪問を終えて

静岡福祉大学 社会福祉学部福祉心理学科 准教授 田中秀和

2023年8月28日、29日に韓国慶州市にある東国大学校WISEキャンパスへ、増田学長をはじめとする計6名で表敬訪問をさせていただいた。静岡福祉大学と東国大学校は2023年1月に学術協定を結んでいる。学術協定に関する調印式は、東国大学校から李総長をはじめとする教職員を静岡にお招きし



て、静岡福祉大学において執り行われた。今回の東国大学校への訪問の目的はそのことへの御礼の意味を含めた現地視察と、今後の両大学間における交流の具体化を図るための意見交換である。

訪問初日、緊張のなかで大学最寄り駅に降り立ったわれわれに待っていたのは、東国大学校教職員による温かい歓迎であった。東国大学校は地域交流も盛んであり、初日に開催された懇談会には、大学の地元である慶州市のスタッフや慶州女子高等学校の教員も参加され、有意義な時間を過ごすことができた。

訪問2日目には、本学と東国大学校における国際交流について、話し合いの機会が持たれた。そこでは、今後両大学間において学生同士の交流を盛んに行うことのみならず、教員同士の学術交流の機会をもつこと、また将来的には両大学間において単位互換の仕組みを整え、それを実行していくこと等について合意が得られた。

また、同日には慶州女子高等学校を視察する機会にも恵まれた。慶州女子

高等学校は職業教育を中心とする学校であり、キャンパスは広大かつ、様々なところに工夫がなされていた。先方からは今後、静岡大成高校と交流の機会をもつこと等のご提案を頂いた。

今回の韓国訪問は、東国大学校の教職員をはじめとする皆様の温かいおもてなしによって、大変有意義な時間となった。この訪問の機会を活かして、今後、静岡福祉大学では東国大学校との交流を本格的に始動させていきたい。まずは、今年度中にオンラインによる学生同士の交流イベントを企画中である。それを足がかりとして、静岡福祉大学のなかに国際交流の芽を育て、学生が大学生活を送るなかで日常的に国際交流の文化を感じることができるよう努力していきたいと考えている。





静岡精華幼稚園

『子供たちの笑顔』を取り戻す!

—活気のあるPTAバザーを—

静岡精華幼稚園PTA会長 湯倉侑充

4月に始動しました令和5年度静岡精華幼稚園PTA活動、そのメインイベントとも言えるPTAバザーを、10月21日大盛況のうちを終えることができました。

今年度は4年ぶりの規制なきバザー開催。それに伴い「飲食飲料販売」を復活させ、人数制限を設けず、本来の静岡精華幼稚園PTAバザーを復活させるべく当日まで準備を進めて参りました。

PTAバザーの準備は4月から始まりです。まずPTA役員三役で今年度バザーの方針を決め、各クラス正副代表・各委員との会議を行い、バザー係・手作品製作有志の方々にご協力いただきながら当日までの準備を進めて参ります。

また、その他保護者の皆さまにも、バザー当日バザール会場で販売する「日用品」「古着古本」や「制服等のリユース品」の寄付という形で協力して頂き、まさに静岡精華幼稚園PTA会員である保護者一丸となって行一大イベントです。

そのPTAバザーの陣頭指揮を任された私がまず思ったことは、マスクの下に隠れてしまった子供たちの笑顔を取り戻したい。その思いから『子供たちの笑顔』をテーマとして掲げることにしました。

子供たちの笑顔を引き出し、楽しいPTAバザーにするために最も重要な事は、親である私たちが笑顔である事と考え、PTAバザーに関わる保護者の負担を軽くし、保護者同士が仲良く楽しく活動できるよう、コミュニケーションを重視して活動して参りました。

その結果無事当日を迎えることができました。

可愛いバザーポスターに、各会場の素敵な飾り付け、大喜び間違いなしのゲームの景品、クオリティーの高い手作りおも



ちゃ、お洒落な手作り縫製品と、準備は万端です。

そして、ドキドキとワクワクする感情が入り混じる緊張感の中、PTAバザーが始まりました。

開始とともに各会場、列ができるほどの大盛況。ゲーム会場から出てくる子供からは「もう一回やりたい」などの声が聞こえ、今年度新たに設けた飲食スペースでは、購入したパンやクッキーを「美味しいね」と言って食べる親子の姿も見られ、先生方のチョコバナナは即完売。バザール会場では大人気の手作りおもちゃを手に笑顔で出てくる子供たちであふれ、会場全体に活気があり、見ている私も楽しい時間を過ごさせていただきました。

何より『子供たちの笑顔』が沢山見られ、PTAバザーにかかわる保護者間の絆が生まれ、皆様のおかげで得られた収益金をもって幼稚園に貢献できるという事を嬉しく思います。

そして、激励に来て下さった理事長先



生をはじめとする来賓の皆様、多大なるご協力を下さいました園長先生・副園長先生・教職員の皆様、共に活動していただきました保護者の皆様、笑顔をくれた静岡精華幼稚園の子供たち、そして全力で支えてくれた家族に対して感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

今後も、私の大好きな静岡精華幼稚園と子供たちのため、素晴らしい仲間とともに楽しくPTA活動をしていきたいと思っております。



静岡福祉大学 福祉のこころをわかりやすく伝える 「バリアフリー絵本展」

静岡福祉大学地域連携推進センター 参事(司書)
進藤令子

みなさま、こんにちは。
「バリアフリー絵本」についてご紹介します。子どもの時に絵本を読んで、物語の世界に夢中になった経験があるかと思います。さまざまな障がい絵本を楽しむことができない子どももいます。すべての子どもが読書の楽しみを実感できるように、見えな、読めない、わからないといったバリア(障壁)をなくした絵本を2002年、日本国際児童図書評議会で開催する展示会で「バリアフリー絵本」と名付けたのが名称の始まりです。

図書館では福祉の専門職を養成する大学図書館として学生・地域のみなさまに福祉のこころをわかりやすく伝えたいと



企画して、「バリアフリー絵本」や障がい・世代を問わず利用できる図書をそろえた全国的にも珍しい常設の「バリアフリー文庫」を2015年1月14日に設置しました。

開設に向けて、資料や情報の収集、県内外の福祉施設団体との交流、企画担当者の点字技能資格の取得等、1年間準備を進めてきました。

文庫の所蔵資料は、子どもから高齢者まで機能訓練に使える「布の本」、「点字絵本」や音訳図書「DAISY(デイジー)図書」、「拡大本」、点字や手話の学習本、障がいや福祉をわかりやすく解説する資料をそろえました。

「布の本」は、「布の本」の先駆者・ふきのとう文庫(北海道)や文庫の設立当初から多大な協力をいただく布絵本作家の山本敬子さん(島田市)の作品等がそろっています。

「点字絵本」は、藤枝光文庫(藤枝市)、静岡光の家(静岡市)の協力で視覚障がいの子どもの役に立つ資料を集めました。

「デイジー図書」は、所蔵する戦前紙芝居である昔話紙芝居の「サルとカニ」、保



育紙芝居創始者の高橋五山の「ふしぎの国アリス物語」等の作品を県内民放局アナウンサーOBでつくる静岡民放クラブ(静岡市)の元アナウンサーの朗読で録音された本学のみ貴重な資料があります。

地域連携推進センターでは、「バリアフリー絵本展」を図書館と連携し、2022年～2023年に富士市立中央図書館、静岡県立静岡視覚特別支援学校、藤枝市立駅南図書館で開催しました。

「バリアフリー文庫」はみなさまにご利用いただけます。

今後も県内の図書館・学校等との連携をとって地域に「バリアフリー絵本(図書)」の公開をしていきたいと考えます。



badminton バドミントンサークル

バドミントンサークルのサークル長をやっています社会福祉学部福祉心理学科3年の寺田です。

バドミントンサークルは、部員数が約45名、水曜日の18時から3時間程度、体育館で活動しています。

普段は、学年男女混合でダブルスを組んで試合形式の練習をしており、経験者で「大学でもバドミントンが続けたい」という人や、「初心者だけど体を動かしたい」という人など色々な人が集まり、『バドミントンを楽しむこと』を目的に活動しています。定期的に開催される大会にも自由参加で出場しています。

●**サークルに入った理由** 球技が苦手な僕が体を動かそうだなと感じたのがバドミントンサークルだったからです。入ってからはとても楽しくて毎週かかさず行くぐらい楽しかったです。

●**サークル長になった経緯** みんなからの信用と期待の結果です。

●**サークル長の大変なところ** 自由奔放なメンバーなのでしっかりと合図するなど、サークルをまとめることが大変です。

●**勉強になったところ** 勉強になったところはサークル長としてまとめることに工夫が必要だと感じたこと。どう合図するかを考えて行動しなければならぬこと。

●**今後どういったサークルになって欲しいですか** これからサークルに入ってくる子達がとても楽しく活動出来るサークルになってくれれば良いと思っています。



終末期ケア

静岡福祉大学
社会福祉学部健康福祉学科 准教授
本多祥子

仏教用語の一つに「生老病死」という言葉があります。人として生まれ、老い、病み、死ぬことを表します。これらは、自分の意のままにできないもの、避けることができないものであるため“苦”としてとらえ、“四苦(4つの苦しみ)”といわれます。人の“生”を支えるためには、この“四苦”を理解した上で、“死”と向き合うことが求められます。

本多ゼミでは、「終末期」をテーマとし

て、学生同士の対話やフィールドワークなどを通して、人生の最終段階を迎える人が、“最善の生を生きるためには何が望まれるのか”“人生最期の数ページに寄り添うために私たちにできることは何か”を探究しています。

フィールドワークでは、県内をはじめ宮城県まで活動対象として、「震災遺構・仙台市立荒浜小学校」(宮城県仙台市)、「閉上の記憶」(宮城県名取市)、「穂波の郷クリニック緩和ケア支援センター」(宮城県大崎市)、「龍津寺」(静岡県静岡市)、「普門寺」(宮城県栗原市)などに足を運んでいます。また、東北福祉大学のゼミ生たちとの合同研修を行い、学生間の交流により広い視野を育みながら学びを深めています。

東日本大震災の被災地の視察(震災遺構・仙台市立荒浜小学校、閉上の記憶)では、突然訪れた最期を迎えた場所に足

を踏み入れることで、人間の最期は予測されるもの、そうでないもの、多様なかたちで訪れることを理解し、命の儚さや尊さを改めて感じてほしいと思っています。看取りの介護が増えていく介護現場を担う学生にとって、生死について考えることは大きな意味があることから、この体験が学生一人ひとりの死生観の確立につながることを期待します。

在宅緩和ケア患者・家族への在宅支援プロジェクト(穂波の郷クリニック緩和ケア支援センター)への参加では、がんなどにより終末期を迎えている方が、自宅で医療や支援を受けている現状を学ぶことを目的としています。実際に在宅患者さんへの支援プロジェクトに参加することで、ご本人やご家族の思い、医療および支援の可能性を感じ取ってほしいと思います。

また、終末期に求められる全人的ケアにおいては、スピリチュアルの領域への関与も求められることから、臨床宗教師(終末期患者に寄り添う宗教者、欧米でいうチャプレン)の力添えが必要です。そのため、臨床宗教師の第一人者である高橋悦堂師(普門寺副住職)をはじめ、勝野秀敏師(龍津寺住職:臨床宗教師)からゼミ研修を受けることで、臨床宗教師の役割や活動についての知見を広げ、併せて、多様化する死のかたちに対応できるよう、心の整え方、グリーフケアなどについて学びます。

机上論だけに頼らずに、探究する楽しさを学生たちが実感できるように、今後もゼミ活動を行っていききたいと思います。



illustrator イラストサークル

イラストサークルのサークル長をやっています社会福祉学部福祉心理学科2年の上條です。イラストサークルは、部員数が約16名、木曜日の18時から1時間程度、教室棟2階の201教室で活動しています。

2022年度前期に「同好会」から正式に「サークル」に昇格しました。それに伴い、今年度のイラストサークル活動では文化祭に展示するイラスト作品の制作などを中心に力を入れています。

普段の活動は比較的緩く、当日活動時間中に描いた作品を見せ合ったり、今まで描いた作品を持ち寄って鑑賞会などを行っています。絵を描くのが好きな方、今まであまり絵を描いてこなかったけど、この機に絵が上手くなりた方、他の人が描いた絵を見たい方など、どなたでもご参加いただけます。見学自由なので興味があればぜひお越しください。

●**サークルに入った理由** 以前からイラストを描くのが好きだったため。

●**サークル長になった経緯** 立候補しました。

●**サークル長の大変なところ** イラストサークルは私が考案した企画やメンバーからの提案企画をもとに活動しています。企画の考案は大変ですが、やりがいも感じています。

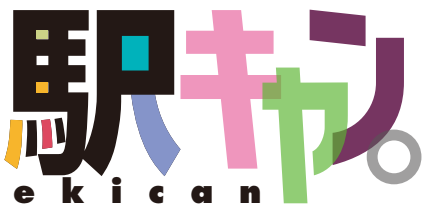
●**勉強になったところ** メンバーとの交流や絵の描き方を学んだことは良い勉強になったと思います。

●**今後どういったサークルになって欲しいですか** サークルメンバーに所属してよかったと思ってもらえるようなサークルにしたいです。





毛糸を素材にハワイのアクセサリを制作。(第7回「フラ体験とハワイアンレイづくり」)



静岡精華学園「駅キャン文化講座」レポート 7回の「駅キャン文化講座」 を振り返る

福祉大の駅前キャンパスにて

今10月、静岡精華学園が主催する「駅キャン文化講座」が7回目を迎えました。第1回は「モンゴルの生活と文化に触れる」と題し、異文化について市民の皆さんに紹介する内容でした。第2回以降は静岡大成高等学校の部活の協力を得るなど、延べ17日間にわたり、さまざまな分野の文化発信を通じて焼津市駅前を中心とするまちの活性化にも貢献するイベントとなりました。

「駅キャン文化講座」の内容は、異文化の理解と体験、映像作品の上映、美術作品の展示と体験、伝統文化の鑑賞と体験など、多岐にわたります。ジャンルは異なりますが、いずれも生活を豊かに彩り、心を癒す芸術文化の発信を通じた本学園の

社会貢献活動として位置づけています。10代から80代と幅広い年齢層が参加するだけに、芸術文化作品を観て聴いて楽しむ鑑賞型、身体の動きを伴う体験型など、参加者の関わり方にも工夫を凝らしています。

第2回、第5回、第6回はいずれも静岡大成高校の部活動の一環として、放送部、美術部、茶道部の皆さんが活躍し、卒業生にも協力していただきました。あらためて、この場をお借りして感謝申し上げます。

「駅キャン文化講座」のコンセプトは、芸術文化分野の講座を通じて、日常生活リズムのなかに癒しのひとときを提供するというものです。それに加えて、発信者で

ある若い人の表現活動の場としてもその役割を担っています。若者が芸術文化活動に携わるだけでなく、この分野で生計を立てることは容易ではありません。それだけに高校時代に創作した作品を駅キャン



卒業生による箏曲の演奏。(第6回「箏の調べにお茶するひととき」)

【駅キャン文化講座一覧】

第1回 モンゴルの生活と文化	焼津市役所外交専門官ヤンジカ・ソラ氏によるモンゴル文化の紹介とビデオ上映。	令和4年6月25日
第2回 高校生制作ドキュメント短編映画上映とトーク	静岡大成高校放送部の生徒、卒業生、教員による全国大会受賞作品の上映とトークイベント。	令和4年7月13日～15日(3日間)
第3回 モンゴルの馬頭琴を弾いてみよう	焼津市との共催。モンゴルの民族楽器を焼津市内の子どもたちが学ぶ。	令和4年10月22日、11月13日、 令和5年1月29日
第4回 アートは多様性のタネ	福祉施設との共催。施設利用者の絵画展とダンスパフォーマーによるトークイベント。	令和5年2月11日～2月12日 (2日間)
第5回 駅キャン丸ごと美術館+回遊型アートツアー	静岡大成高校美術部の作品展示とワークショップ。焼津駅周辺のアートスポットを巡る体験。	令和5年3月19日～3月24日 (6日間)
第6回 箏の調べにお茶するひととき、夏は来ぬ	静岡大成高校茶道部によるお茶会と卒業生による箏曲演奏。	令和5年6月24日
第7回 フラ体験とハワイアンレイづくり	ハワイの伝統文化フラの体験に加えてハワイアンレイの制作を体験。	令和5年10月8日

という場で発表し、社会に向けて発信するという経験は大変貴重な青春のひとコマと言えるのではないのでしょうか。

今後はこうした役割に加えて、芸術文化をキーワードとして、人を含むさまざまな資源を結びつける橋渡し役としての機能も果たすことができればと考えています。直近の第7回は、焼津市内のフラサークル



美術部の作品が部屋いっぱいに展示された。(第5回「駅キャン丸ごと美術館」)



子どもたち1人1人に丁寧に指導する。(第3回「モンゴルの馬頭琴を弾いてみよう」)

「フラファイ ナニ ヴェヌーセ」の協力を得て、焼津駅前商店街の皆さん、たまたま訪れたYouTuberなどがハワイアンミュージックに合わせて一緒に踊り、さらに

親子でハワイアンレイを制作するという楽しいイベントとなりました。今後の企画等のアイデアやご意見をぜひ編集部までお寄せいただければ幸いです。

←地域の市民たちに一服のお茶を提供。(第6回「箏の調べにお茶するひととき」)



後藤康雄氏

はごろもフーズ株式会社代表取締役会長
(公益財団法人)はごろも教育研究奨励会理事長

今回は、県内の学校と教職員を応援する公益財団法人「はごろも教育研究奨励会」を運営されている後藤康雄様のご助言を頂きました。頂いた貴重なご助言は理事会で共有します。

空襲と飢餓に 耐えた戦時の 女学生たち

(秘密兵器を作る日々)



其の
勝又千代子
(第46回 高校第2回)

多くの日本人がウクライナ戦争に心を痛めています。なぜなら私たちの父母や祖父たちは70数年前に戦火に焼かれる経験をしているからです。本校卒業生の勝又さんが精華生としての戦争体験を綴った手記を提供してくださり、この連載を始めました。戦争を知らない私たちはそれを知る必要があると考えたからです。ところが、この秋号編集の最中にパレスチナではハマスによるテロと、それに対するイスラエル軍のガザ市民への無差別な報復という悲惨な紛争が起ってしまいました。私たちは学生・生徒たちにどのように平和を説いていけば良いのでしょうか。(編集部)

我が家は焼け残っていた

私たち一家は旧練兵場の北側に住んでいました。父を残して上足洗の方に逃げ、川に架かった橋の下で水につかりながらB29が悠々と飛んでいるのを口惜しい思いで見っていました。空襲の赤い炎にくつきりと浮かび上がり、高射砲の弾も届きません。

翌朝、焼け焦げてプスプスと煙の上がる道を歩いて帰りました。家は当時は町はずれでしたから焼け残っていました。そして家の前に川が流れていて、その横に掘られた防空壕の前に今のプロパンガスの先端部のような丸い形をして、小さなプロペラの付いた塊が突き刺さっていました。父がそれを掘りだし何だろうと小さなプロペラを回したりして調べていました。父は大正時代、静岡で最初の民間飛行士として静岡の空を飛んだ人でした。ですからその物体に凄く興味があったようで、「後から調べるからそのまま置いとけ」と言いました。私たち姉妹も真似して変わりばんこにぐるぐる回しました。何ともないので、表にムシロを広げて濡れたものを干していました。

すと近所の仲良しの少し大きいK君が、様子を見に来てくれました。静大の先生の息子で、大きな洋館の宿舎に住んでいました。兄が優秀で、その劣等感で少しひねくれていましたが優しいいい子で、我が家に学校が終わると遊びに来ていま

た。父や姉も可愛がり、私とも仲良しで、当時の13歳15歳はまだ子供でしたから、夕暮れの中でりんご箱に座り他愛ない話をしてさよならをしていました。そして例のプロペラを回し始めました。

K君の爆死

突然、「ドッカーン」と物凄い音がしました。振り返ったらK君がのけぞり、顔と胸に穴が開いて血が噴き出し、獣のような唸り声をあげ、のた打ち回りながら転がっていました。私たちはガタガタ震え立ち尽くすばかり。そのうち、前が陸軍病院(現城東保健福祉センター)でしたので、衛生兵が担架を持って塀を乗り越えてきて病院に運んでくれました。夕方、お兄さんが来て「亡くなりました。折角空襲で生き延びたのに」と静かに言いました。私たちはショックで言葉も出ませんでした。K君が亡くしなければ私たちの誰かが死んでいたのです。消すことはできません。

2万5千人の焼け出された人たちは、その日からどうして過ごしたのでしょうか。今のように避難場所も無く、救援物資も5日分の乾パンや僅かなおにぎりが配られたきりで、焼け残った建物に入れた人は僅かです。どこで寝たのか、食べるものはどうしたのか、トイレどうしたのか。どんなに大変な日々を送られたかと思います。兄さんがいる人たちは殆ど兵隊にとられて男手はなく、中には2人も3人も出征して戦死し、いまだに悲しみを抱えています。

次号に続く

●次号の内容(抜粋)

- ・1945(昭和20)年、8月15日、日本は負けました。私は負けましたが悔しくて、竹槍で突っ込んでいきたいと思いました。そして私たちはあちこちの焼け残った建物を借りて勉強しましたが…
- ・手探りの戦後教育の中で、先生方も模索しながらの授業だったと思います。ディベートという生徒同士の討論会「テストは是か否か」も珍しかった。演劇の発表会では「ロミオとジュリエット」をやったり、…
- ・1948(昭和23)年、生徒もアルバイトやバザーなどで建設資金を集め寄付したりして、新校舎ができました。民主教育というのか、生徒の自主性が大事にされ…



上のQRコードから前号空襲と飢餓に耐えた戦時の女学生たち(秘密兵器を作る日々)その2をご覧ください。

学校法人静岡精華学園へのご寄付のお願い

「時代に即応する新しい人材の育成」をめざして 未来に向かって着実に歩みつづけます

日頃、静岡精華学園の教育活動に対し、多くの皆様のご配慮とご支援をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。本学園の創設者である杉原正市は「時代に即応する新しい女性の育成」という理念を掲げ、静岡県における女子教育のパイオニアとして明治36(1903)年、本学園の前身である私立静岡精華女学校を創設しました。その後、本学園は「時代に即応する新しい人材の育成」を建学の精神とし、静岡県内では伝統ある教育機関として今日まで歩んでおります。

本学園は私立学校ならではの特色ある理念に基づき、これまで百十有余年間にわたり優秀な人材を社会に送り出してきました。教育は人なりと申します。学園

報でご紹介しましたように、本学園は園児生徒学生一人ひとりの人格と個性を大切に、すべての若者たちが生き生きとした学園生活を過ごすことができるよう教職員の一人ひとりが真剣に教育活動に携わり、学園を支えております。

こうした伝統をさらに継続するためには、少子化という社会情勢を踏まえ長期的な安定した財務基盤が欠かせません。そこで卒業生の皆様、企業・団体でご活躍の皆様におかれましては、趣旨にご理解を賜り、本学園へのご寄付を賜りたくお願い申し上げます。皆様からお寄せいただいたご寄付は学園の教育環境の一層の充実に活用させていただき、本学園ならではの良き伝統を今後も継続してまいります。



令和5年10月吉日
学校法人静岡精華学園理事長

杉原 桂子

募金事業内容

- 目的 教育環境の充実
- 使途 ●静岡福祉大学教育環境整備募金 ●静岡大成中学高等学校教育環境整備募金 ●静岡精華幼稚園教育環境整備募金
●使途を限定せず
- 寄付金額 1口3,000円以上(口数にかかわらずお受けさせていただきます)
- お申込み方法(税制上の優遇措置もあるため、お手数ですが先にお申込みをいただいてからのお振込みとなります。)
 - 下記宛にメール等でお申込みください。お知らせいただいたご連絡先に振込先のご案内等をさせていただきます。
 - ホームページを通じた申込みも可能です。サイトアドレス:<https://s-seika.jp/>
- 寄付者のご芳名は静岡精華学園報でご報告させていただきます。(公表を希望されない方は「匿名希望」と表記)

〒425-0063 静岡県焼津市本中根549-1 学校法人静岡精華学園 法人本部

電話:054-656-2100 メール:honbu@suw.ac.jp

お申込みに必要な項目

- ①氏名 ②フリガナ ③郵便番号と住所 ④電話番号
- ⑤生年月日 ⑥メールアドレス ⑦寄付金額 ⑧寄付金の使途
- ⑨本学園との関係
 - 卒業生 保護者 教職員 その他
- ⑩ご芳名の掲載
 - 承諾する 匿名を希望する
- ⑪「静岡精華学園報」の送付
 - 希望する 希望しない

税制上の優遇措置について

本学園は文部科学省より特定公益増進法人の証明書の交付を受けていますので、個人様の場合、寄付金に対しては以下のように所得から控除され、税法上の優遇措置を受けることができます。その年中に支出した寄付金-2千円を所得より控除。なお寄付金の額は総所得の40%が限度となります。

ご寄付の御礼(令和5年9月末現在)

令和5年5月の寄付募集開始以降、以下の皆様からご寄付をいただきました。誠にありがとうございました。

●勝又千代子様 ●服部暢子様 ●味村文子様 ●吉永貴徳様

※ご寄付に際して提供いただきました個人情報は、ご寄付に伴う目的にのみ使用し、許可なく第三者に提供することはありません。

令和5(2023)年10月～令和6(2024)年3月 学校法人静岡精華学園行事予定表

10月	October	11月	November	12月	December	1月	January	2月	February	3月	March
1 ㊦		1 ㊦	講演会(中・高)	1 ㊦		1 ㊦	(祝)元日	1 ㊦		1 ㊦	
2 ㊦		2 ㊦	観書受付(幼) 校内意見発表会(中)	2 ㊦		2 ㊦		2 ㊦		2 ㊦	
3 ㊦		3 ㊦	(祝)文化の日	3 ㊦		3 ㊦		3 ㊦		3 ㊦	
4 ㊦		4 ㊦		4 ㊦		4 ㊦		4 ㊦		4 ㊦	
5 ㊦		5 ㊦		5 ㊦		5 ㊦		5 ㊦		5 ㊦	
6 ㊦		6 ㊦		6 ㊦		6 ㊦		6 ㊦		6 ㊦	
7 ㊦		7 ㊦		7 ㊦		7 ㊦		7 ㊦		7 ㊦	
8 ㊦		8 ㊦		8 ㊦		8 ㊦		8 ㊦		8 ㊦	
9 ㊦		9 ㊦		9 ㊦		9 ㊦		9 ㊦		9 ㊦	
10 ㊦		10 ㊦		10 ㊦		10 ㊦		10 ㊦		10 ㊦	
11 ㊦		11 ㊦		11 ㊦		11 ㊦		11 ㊦		11 ㊦	
12 ㊦		12 ㊦		12 ㊦		12 ㊦		12 ㊦		12 ㊦	
13 ㊦		13 ㊦		13 ㊦		13 ㊦		13 ㊦		13 ㊦	
14 ㊦		14 ㊦		14 ㊦		14 ㊦		14 ㊦		14 ㊦	
15 ㊦		15 ㊦		15 ㊦		15 ㊦		15 ㊦		15 ㊦	
16 ㊦		16 ㊦		16 ㊦		16 ㊦		16 ㊦		16 ㊦	
17 ㊦		17 ㊦		17 ㊦		17 ㊦		17 ㊦		17 ㊦	
18 ㊦		18 ㊦		18 ㊦		18 ㊦		18 ㊦		18 ㊦	
19 ㊦		19 ㊦		19 ㊦		19 ㊦		19 ㊦		19 ㊦	
20 ㊦		20 ㊦		20 ㊦		20 ㊦		20 ㊦		20 ㊦	
21 ㊦		21 ㊦		21 ㊦		21 ㊦		21 ㊦		21 ㊦	
22 ㊦		22 ㊦		22 ㊦		22 ㊦		22 ㊦		22 ㊦	
23 ㊦		23 ㊦		23 ㊦		23 ㊦		23 ㊦		23 ㊦	
24 ㊦		24 ㊦		24 ㊦		24 ㊦		24 ㊦		24 ㊦	
25 ㊦		25 ㊦		25 ㊦		25 ㊦		25 ㊦		25 ㊦	
26 ㊦		26 ㊦		26 ㊦		26 ㊦		26 ㊦		26 ㊦	
27 ㊦		27 ㊦		27 ㊦		27 ㊦		27 ㊦		27 ㊦	
28 ㊦		28 ㊦		28 ㊦		28 ㊦		28 ㊦		28 ㊦	
29 ㊦		29 ㊦		29 ㊦		29 ㊦		29 ㊦		29 ㊦	
30 ㊦		30 ㊦		30 ㊦		30 ㊦		30 ㊦		30 ㊦	
31 ㊦		31 ㊦		31 ㊦		31 ㊦		31 ㊦		31 ㊦	

注：(幼)=幼稚園 (中)=中学校 (高)=高校 (大)=大学 行事の予備日については各組織にお問い合わせください



「精華の教育」とはどんな教育だろう。
 建学の精神は「時代に即応した人材の育成」であり「愛・自立・共生」の副題がついている。さらに中・高には校訓の「凛々しきこと 優しきこと」があり、幼稚園や大学にもこれまでに培ってきた教育理念があるはずだ。しかし、私たちはそれをどれだけ内面化できているだろう。ただのお題目になってはいないだろうか。
 私立学校には創立者の教育にかける思いがある。その思いをしっかりと継承してこそ私学は私学たり得る。建学の精神や教育目標を決してお題目にしてはならない。
 ただ、創立から120年も経てば社会も変化し必要とされる教育も変化する。建学の精神の根幹は揺るぎないものしつつも、教育実践はアップデートする必要があるのに私たちはそれを怠っていたように思う。20世紀の価値観に縛られて後ろ向きにばかり歩いていなかっただろうか。学校が掲げる教育理念がなぜか人ごとのように思える原因はそこにあるのかもしれない。
 教師たちはそれぞれ自分の教育信条を持つが、それを束ねて大きなエネルギーに変えるのがその学校の持つ教育理念だ。静岡精華学園の園児・生徒・学生、そして教職員の日々が輝くような「精華の教育」を創り上げよう。 編集部 S・W

backnumber
 バックナンバーをご覧になりたい方はQRを。



R3 Vol.01



R3 Vol.02



R4 Vol.03



R4 Vol.04



R4 Vol.05



静岡福祉大学

「福祉力を鍛える」の基本理念のもと、福祉に関する高い知識と優れた技能を併せ備えた有能にして実践力のある福祉・教育専門職の人材を養成します。



静岡大成高等学校

生徒一人ひとりの進路希望を実現させる2つのコースを設定。文理選択や進路系統別科目選択により将来の夢に直結する学びを深めています。



静岡大成中学校

学力向上のためのスターライトクラスや英語プログラムといった主体性のある学びを通じ本校ならではの意思のある教育を展開しています。



静岡精華幼稚園

社会体験・自然体験を重視している元気で明るい幼稚園です。体験の幅の広がり密度の濃さが、確かな学びと育ちをもたらす小中学校へとつなげます。